

クミアイ

スピノエースTM 顆粒水和剤

QalcovaTM active

有機JAS適合資材

園芸用殺虫剤

天然物由来

微生物が生みだした殺虫パワー。
特別栽培や有機栽培にも使えます。

- 多彩な作物、多くの害虫に適用
- アザミウマ類、チョウ目害虫に優れた効果

栽培形態と使える農薬

	日本農林規格附属書Bの農薬
慣行栽培	○ 使用可
特別栽培 ^{※1}	○ 使用可 (成分数にカウントされない)
有機栽培	○ 農作物の被害が予想される場合に使用可

※1 慣行栽培と比較して削減対象農薬の使用回数が50%以下

守ってきた「実り」がある。
つないでいく「喜び」がある。



詳しい情報は
こちらから→



■クミアイスピノエース™顆粒水和剤の適用害虫と使用方法

・使用方法:散布

・散布流量:10アールあたり100～300ℓ(いちじく、マンゴー、ラズベリー、樹木類は200～700ℓ)

*使用できる収穫前の日数と、本剤およびスピノサドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
キャベツ	タマナギンウバ、コナガ、アオムシ、ヨトウムシ、シロイチモジヨトウ	2,500～5,000	3日	本剤 3回※1
	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類	5,000		
	コナガ、アオムシ、ハイマダラノメイガ、ウババエ類	2,500～5,000		
はくさい	ヨトウムシ、カブラハバチ類	5,000		
ブロッコリー	コナガ、アオムシ	2,500～5,000	7日	3回
だいこん	コナガ、アオムシ、キスジノミハムシ	5,000	14日	2回
はつかだいこん		2,500		
セルリー	ハモグリバエ類		3日	
にんじん				
にんじん(葉)	アザミウマ類			3回
かぶ				
実えんどう	ハモグリバエ類		前日	
食用へちま		5,000		2回
カリフラワー				
クレソン	コナガ		3日	3回
みつば			※2	2回
メキャベツ	ハスモンヨトウ		7日	3回
ふだんそう		4,000	3日	2回
非結球メキャベツ	ヨトウムシ	5,000	14日	3回
パセリ		2,500		2回
みずな				1回
非結球はくさい#	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ類、	5,000	3日	
非結球あぶらな科葉菜類#	ハイマダラノメイガ、アザミウマ類、ハモグリバエ類	2,500～5,000	14日	2回
(みずな、非結球はくさいを除く)				
レタス	オオタバコガ		3日	本剤 3回※3
	ヨトウムシ	5,000		本剤 1回※3
非結球レタス#	ハモグリバエ類	灌水500～1,000 (使用流量:セル成型) 育苗トレイ1箱または ペーパーポット1冊 (30×60cm・使用土 壌約3ℓ)当り500mℓ	定植前まで	本剤 1回※4
	オオタバコガ	2,500～5,000		
	ヨトウムシ	5,000	7日	本剤 2回※4
ねぎ、わけぎ、あさつき	アザミウマ類	2,500～5,000	3日	3回
ほうれんそう	シロイチモジヨトウ			
トマト、ミニトマト	アザミウマ類、シロオビノメイガ、アシクロハモグリバエ	5,000		
	アザミウマ類、オオタバコガ、ハモグリバエ類			
なす	アザミウマ類	2,500～5,000	前日	2回
ピーマン	オオタバコガ	5,000		
	アザミウマ類	2,500～5,000		
すいか	アザミウマ類			
メロン		5,000		
きゅうり	ハモグリバエ類、アザミウマ類、ウリノメイガ			
きゅうり(葉)		10,000	7日	
きゅうり(花)			14日	3回
ズッキーニ		5,000～10,000		
ズッキーニ(花)				
ししとう		20,000		
甘長とうがらし				
アスパラガス	アザミウマ類		前日	2回
いちご				
エンサイ				
すいぜんじなせり		5,000		
とうがん				
未成熟さざげ				
未成熟ふじまめ				
さやえんどう	ハモグリバエ類			3回
さやいんげん				

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	時期*	回数*
いちじく	アザミウマ類	5,000	前日	1回
マンゴー	チャノキイロアザミウマ		3日	
みょうが(花穂)			前日※5 ※6	2回
みょうが(莖葉)				
よもぎ				1回
ラズベリー				2回
モロヘイヤ			3日	
つるな		2,500		
らっきょう				
にんにく		5,000		
にら	アザミウマ類	10,000	前日	3回
にら(花莖)				
しよくようほおずき				
食用ミニバラ				
しそ科葉菜類#				
しそ(花穂)				
食用花#				
(かんそう(花)、食用ぎく、食用ミニバラを除く)			3日	
食用ぎく	ミカンキイロアザミウマ			2回
きく(葉)	アザミウマ類			3回
きく	ハモグリバエ類、アザミウマ類	5,000	発生初期	2回
	オオタバコガ			
グアバ(葉)	バンジロウツノエグリヒメハマキ	2,500～5,000	14日	3回
さんしょう(葉)	アゲハ	10,000	3日	
花き類・観葉植物(きくを除く)#	アザミウマ類	5,000	発生初期	2回
樹木類#	ケムシ類			

※1.キャベツ はくさい ブロッコリー 本剤の使用回数:3回以内 スピノサドの総使用回数:4回以内(定植前は1回以内、本圃では3回以内)

※2.みつば ※3.レタス

※4.非結球レタス

※5.みょうが(花穂) 本剤の使用回数:散布での使用法は2回以内、灌水での使用法は1回 スピノサドの総使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圃では2回以内)

※6.みょうが(莖葉) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用

※7.みょうが(花穂) 本剤の使用回数:3回以内(定植前は1回以内、本圃では2回以内) 収穫前日まで、但し花穂発生期はマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用

ミツバチに対する影響

ミツバチは2日後(5,000倍)から7日後(2,500倍)、マルハナバチは3日後(5,000倍)から8日後(2,500倍)に導入できます。

ローテーション防除推奨

ローテーション 同じ薬剤および同系統の薬剤の過剰な連続使用は避け、異なる作用機種の薬剤とローテーション(輪番)で使用することを推奨します。

■上手な使い方

薬剤を調製するときは、薬剤を投入して水となじませてから、かき混ぜてください。一度に薬剤を投入してすぐにかき混ぜると、薬剤が溶けにくくなる場合があります。

▲効果・薬害等の注意(抜粋)

●適用作物群に属する作物、またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

▲安全使用上の注意(抜粋)

●蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。
●ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
・受粉促進を目的としてミツバチなどを放飼中の施設や果樹園では、使用をさしてください。
・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体など)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●空容器は、ほ場等に放置せず、適切に処理してください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年7月現在の知見に基づき、作成されています。

自然に学び 自然を守る

 **クミアイ化学工業株式会社**

本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>

2514(25-7)